

# FLOOR TOP AQUA EPO 21

ローラー1回仕上げでキレイ!長持ち!!

**フロアトップアqua エポ21**

二液水性中膜厚型エポキシ樹脂塗料



ATOM<sup>1</sup>X



安全性に優れ、ローラー1回塗りで膜厚が付き、プライマーなしで幅広い種類の既存塗膜を塗り替えられます。

## 用途

- 耐久性・耐汚染性を求める各種工場、倉庫、事務所等の屋内床面
- 低臭、非危険物、特定化学物質障害予防規則対応の床用塗料を使用したい現場

## 荷姿・塗り面積

【荷姿】フロアトップアクア エポ21  
 12kgセット：主剤4kg/石油缶、硬化剤8kg/半切り缶  
 エポ21硬化促進剤 160g/袋 ※気温により添加が必要となる場合があります。

エコワイドプライマー

12kgセット：主剤9kg/石油缶、硬化剤3kg/角缶

【塗り面積】	コーティング工法(塗り替え仕様)	30~40㎡
	コーティング工法(コンクリート面仕様)	30~40㎡

※下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。



## 標準色 7色 (調色も承ります)



#9サマーグリーン



#11グリーン



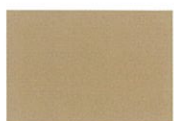
#15ライムグリーン



#21アメリカングレー



#31スパニッシュブラウン



#40ベージュ



#50アイボリー

※日塗工色見本には無いため、色見本を掲載します。  
 ※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。





## 特長

### 1 使う人に優しい高い安全性

製品名	消防法	厚生労働省指針 環境13物質	文部科学省 学校環境衛生の基準 指定6物質	有機溶剤中毒 予防規則	特定化学物質 障害予防規則	保護具	保管
フロアトップアクア エポ21	非危険物	非含有	非含有	対象外※1	対象外	防塵マスク	一般倉庫
一般的な溶剤エポキシ	第四類第二石油類	含有	含有	対象※2	対象※3	防毒マスク	危険物倉庫

※1 塗り替え仕様の場合 ※2 有機溶剤作業主任者の立ち合いが必要 ※3 特定化学物質作業主任者の立ち合いが必要

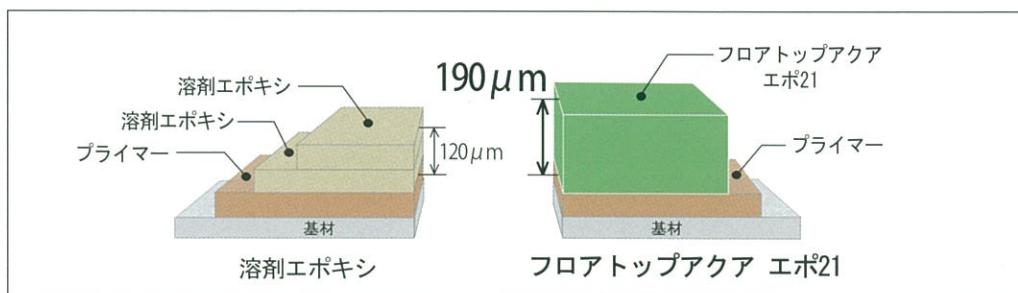
### 2 幅広い種類の塗膜にプライマーなしで上塗りができます (塗装できる既存塗膜)

既存塗膜の種類	製品名	備考
一液型アクリル (水性系)	フロアトップ#1400、フロアトップアクアW#5000	既存塗膜をサンディング後、直接上塗りができます。
一液型アクリル (溶剤系)	フロアトップ#5000	
一液型ウレタン (溶剤系)	マークレス	
二液アクリルウレタン (水性系)	アクアクリーンU	
二液アクリルウレタン (溶剤系)	フロアトップ#7000	
二液エポキシ (水性系)	水性アトムエポクリーン	
二液エポキシ (溶剤系)	フロアトップ#8500、#8500速乾	
二液エポキシ (無溶剤系)	フロアトップ#8000、エポワン、クイックアンダー	

※当社品以外の既存塗膜に塗装する場合はご相談ください。

### 3 1回塗りで溶剤エポキシ2回分以上の膜厚で施工できます 膜厚と耐摩耗性により塗り回数と塗り替えサイクルを削減

業界初の  
新技術



### 4 優れた高光沢・耐汚染性 (フォークリフトが頻繁に走行する倉庫)

当社の洗浄剤「スーパーオイルクリーン」で拭くと、汚れが容易に拭き取れます。





## 施工仕様

### コーティング工法 (AQ-EWO-I) / 塗り替え仕様

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)
1 上塗り	フロアトップアクア エポ21	—	—	0.30~0.40	—

### コーティング工法 (AQ-EWO-V) / コンクリート仕様

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下塗り	エコワイドプライマー	—	—	0.15~0.20	3~8
2 上塗り	フロアトップアクア エポ21	—	—	0.30~0.40	—

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。  
下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

可使時間 (気温23℃)	フロアトップアクア エポ21	40分
	エコワイドプライマー	5時間
養生時間 (気温23℃・湿度50%)	歩行開放	16時間以上
	重量物開放	48時間以上

#### 注意

- ・ 通風が悪いと乾燥が遅れることがあります。通風をよくして乾燥を促進してください。
- ・ 可使時間を過ぎると、レベリング不良や塗装後につやムラや造膜不良を起こす場合があります。可使時間 (ポットライフ) は厳守してください。
- ・ 毛の抜けにくいローラーをご使用ください。ローラーについては、当社にお問い合わせください。
- ・ 詳細については、施工仕様書をご参照ください。

### 施工仕様例 (既存塗膜塗り替え)

1 主剤4kgに硬化剤8kgを全て入れてください。 主剤：硬化剤 1：2 (重量比)		2 電動攪拌機にて3分混合してください。	
3 混合した材料を可使時間内に塗装してください。		4 塗布量0.30~0.40 kg/m <sup>2</sup> 縦横にローラーを通して均一に塗装してください。	
5 乾燥途中は乾燥ムラ (右写真) が生じます。充分に乾燥させてください。		6 乾燥後光沢のあるきれいな仕上がりが得られます。	

### 施工環境と硬化促進剤の添加量による硬化時間と可使時間

硬化促進剤添加量	気温	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃
なし	硬化時間	66時間	59時間	24時間	16時間	16時間	9時間	7時間
	可使時間	—	—	—	40分	40分	30分	15分
160g添加	硬化時間	45時間	24時間	20時間	14時間	14時間	—	—
	可使時間	30分	30分	30分	20分	20分	—	—
320g添加	硬化時間	24時間	20時間	16時間	8時間	8時間	—	—
	可使時間	30分	30分	20分	15分	10分	—	—
480g添加	硬化時間	20時間	13時間	13時間	8時間	8時間	—	—
	可使時間	25分	20分	15分	15分	10分	—	—

※ 気温によりフロアトップアクア エポ21硬化促進剤の添加が必要になります。 ※ フロアトップアクア エポ21硬化促進剤は1袋160gです。  
※ 硬化促進剤は、主剤、硬化剤を混合後、添加してください。

## 注意事項

1. 塗装 (施工) 前の注意
  - (1) 5℃以下の場合には塗装を避けてください。
  - (2) 降雨、降雪、高湿、高温時およびその恐れがある場合にも、塗装を避けてください。
  - (3) 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書をよくお読みの上、充分に注意して行ってください。
2. 塗装 (施工) 中の注意
  - (1) 下地が濡れている場合は、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
  - (2) 塗装中・乾燥中は、換気をよくし、火気の取り扱いは厳禁にしてください。
  - (3) 二液性塗料の計量・混合搅拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間 (ポットライフ) にも充分注意して塗装してください。
  - (4) 塗料を小分けする場合は、小分け前に充分搅拌し均一にした後、主剤・硬化剤の配合比 (重量比) を守るようにはかりで正確に計り取り、その後混合搅拌を行ってください。材料混合の際、必ず底の四隅に搅拌機をあてて混ぜてください。更に搅拌機を上下に動かして、まんべんなく材料が混ざるように混合してください。
  - (5) 材料混合の際、床面に主剤・硬化剤の材料がこぼれた場合、必ず拭き取ってください。その上に混合した材料を塗り重ねますと未硬化を起こしますのでご注意ください。
  - (6) プライマー塗布後、塗装間隔を空けますと雨、結露、油汚れ等で汚され、次の工程との層間付着性を悪くする場合があります。
3. 塗装 (施工) 後の注意
  - (1) 湿度が高いとき、気温が低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
  - (2) 養生時間 歩行開放 16時間 重量物開放 48時間 (気温23℃・湿度50%)
  - (3) 塗装道具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
4. 塗装面別の注意
  - (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート (1m以上) を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。  
(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安にする)
  - (2) 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
  - (3) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要を確認してください。また既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なりますので、当社にお問い合わせください。
  - (4) 風化したコンクリート、打設時の雨打たれや凍結により強度のないコンクリートの場合にはご相談ください。
  - (5) 緻密なコンクリートや強化コンクリートの場合、強化コンクリート用プライマーをご使用ください。
5. 全般的注意
  - (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS (安全データシート) ・施工仕様書をよくお読みください。
  - (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
  - (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
  - (4) 当販促物に表示してあります塗り面積・工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
  - (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

# アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

■本 社	〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL.03-3969-3111(代表)	FAX.03-3968-7300
■加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1154	FAX.0480-65-6909
■大 阪 支 店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22	TEL.072-872-3111	FAX.072-872-1222
■仙 台 営 業 所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL.022-249-7371	FAX.022-249-7372
■新 潟 営 業 所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL.025-244-8011	FAX.025-244-8012
■横 浜 営 業 所	〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43	TEL.045-943-8911	FAX.045-943-8912
■名 古 屋 営 業 所	〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL.052-914-3900	FAX.052-916-0892
■広 島 営 業 所	〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL.082-845-2202	FAX.082-845-2203
■福 岡 営 業 所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL.092-503-5200	FAX.092-503-5308
■加 須 工 場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1159	FAX.0480-65-7146